

国語 解答用紙 (その一)

一

			①	④	⑦	⑩	⑮	⑲
歩	うで	夏	ア	エ	自分	手を	て	いる
②	⑤	⑧	⑬	⑯	を	軽	る	点
代	かた	秋	ウ	オ	中	視	。	
③	⑥	⑨	⑭	⑰	心	した		
存		春	イ	ア	に	表		
	きも		オ	イ	考	現		
					え、	を		
					相	し		

二

a	d
制度	補
b	
許容	
c	
段階	

(1) 問二
人間は

働	自
き	然
か	に
け	対
る	し
も	て
の	外
	部
	か
	ら

である。

(2) イ

問三

各	こ	環	じ
々	と	境	な
が	を	と	く
行	見	自	な
動	失	身	る
主	つ	の	こ
体	た	関	と
で	結	り	。
あ	果	を	
る	、	感	

得点

受験番号	
------	--

問四

オ

問五

環境とは、自然と人間が一体となつて文化や民俗をつくり、そこに暮らし関りのある人々の間で共有され語られる風土であるという考えのもと、人間と自然が互いに定義しあう関係にある。

問六

ウ

問七

環境に対して客観的に観察・分析・介入しようとする「環境のサステイナビリティ」という視点と、人間は環境自体の内側に存在し、環境は自然と人間との相互作用によつて形成されるという「風土のサステイナビリティ」という視点の両方をあわせ持つ必要がある。

問八

エ

三

問一

d	a
垂	窓
e	b
時折	並
	c
	映

問二

A
イ
B
エ
C
ア
D
カ
E
オ

問三

日々感じている言葉に	できない思いを表現する	できないという状態
できない思いを表現する	できないという状態	

問四

何者でもないわけの分からない自分
分がいて、自分が誰なのかという
不安からどうやつても抜けだすこ
とができないという状態。

問五

日常の中で誰もが感じる負の感情
に対して、卓也独特の言葉を発見
し表現できている点。

問六

ア

問七

無意識のうちに、自分の心の中に
ある感情を表現できていたという
点で同じだから。

問八

言葉にできない自分の思いを詩で
表現し、互いに感情をぶつけ合う
ことで、相手への理解を深めるこ
とができると思ったから。

問九

先生によつて部活動の時間が奪わ
れるだけでなく、人間とは分かり
合えないものであるにもかかわら
ず、詩を通じて二人はいい友達に
なれると一方的に決めつけられる
ことに嫌気がさしている。

受験
番号